

札幌開発建設部は、「強靱で持続可能な国土の形成」を目指した防災と安全・安心な社会基盤の形成を図るため、地域防災力向上に向けた取組と災害発生時におけるきめ細かな地域支援として地方公共団体等と連携して地域の防災強化に向けた様々な取組を行っています。

防災体制の強化

- 重要水防箇所の周知や合同河川巡視などを実施し、水害の防止や流域住民の安全確保を図ります。
- 関係者が情報を共有し共通認識に基づいて総合的な地域防災対策を実施します。
- 防災訓練の相互参加や札幌開発建設部の訓練への参加などを通じて様々な種類の防災訓練の支援を行います。
- 講習会等を通じて、地域の防災に関する情報について、職員が持つ知見を交えて説明・紹介を行います。
- 防災意識向上の取組支援として、東日本大震災、北海道胆振東部地震に関するパネル、映像等を貸出します。

防災情報の提供

北海道開発局の河川・道路管理用光ファイバと防災関係機関が保有する光ファイバを相互接続した広域防災情報ネットワーク「防災情報共有WAN」を構築しています。札幌開発建設部管内で接続している地方公共団体は21市町村、関係機関は5機関となっています。(令和5年3月末現在)

防災情報共有WAN

河川・道路監視カメラ及び気象情報、交通規制情報の一元的把握により、地方公共団体等への関係機関の的確な状況把握や迅速な意思決定を支援

防災情報共有WAN画面(CCTVカメラ選択表示画面)▶



TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)

1.リエゾン(現地情報連絡員)

重大な災害が発生し、又は発生のおそれがある場合に地方公共団体等に派遣し、(1)災害情報や開発局への支援要望等の情報収集、(2)災害情報の提供、(3)災害対策用機械など、支援物資に関する連絡調整を行います。

令和4年には、地方公共団体に延べ6名を派遣し活動を行いました。



リエゾン活動状況(江別市)

2.被災状況調査等

大規模な自然災害に際して被災状況の把握や被災地の早期復旧のための技術的支援など、被災地方自治体の支援を迅速に実施します。

令和2年7月には、梅雨前線に伴う大雨による被害が発生した熊本県芦北町等へ被災状況調査のため、TEC-FORCE隊員を延べ152名派遣し活動を行いました。



被災状況調査(熊本県芦北町)



被災状況調査(熊本県球磨村)

3.災害対策用機械

令和4年は、国道276号美笹峠の土砂災害において遠隔操作機械(分解組立型バックホウ、ロボQs)を派遣して復旧活動を実施したほか、地方公共団体の要請に基づき、大雨に伴う災害復旧や、高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う夜間の防疫作業を支援するため災害対策用機械を派遣しました。



土砂除去状況(分解組立型バックホウ、照明車)(国道276号美笹峠)



排水作業(排水ポンプ車、照明車)(江別市)



高病原性鳥インフルエンザ防疫作業支援(照明車)(白老町)